

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立清水特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	全校児童・生徒数252人(小学部児童89人)				

1. 使用状況

寄贈物品名	3連低鉄棒
使用学年及び人数	小学部1～6年 89人
使用頻度	週2日(昼休み)、不定期(体育や自立活動、遊びの指導など)
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、昼休みなどに使用。 ・体育『鉄棒』の授業で使用。
物品の使用による 変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで高さが合わなくて思うように鉄棒に挑戦することができなかった、主に体の小さな低学年の児童が鉄棒の授業に積極的に取り組むことができるようになりました。 ・従来の鉄棒では、高さの恐怖感から補助が必要だったり取り組み自体を諦めたりしていた児童が「やりたい！」と自分から挑戦するようになりました。 ・友達と横にならんでも十分なゆとりのある設計で、今まで一人ずつ取り組んでいた、順番待ちをしたりしていましたが、「〇〇さん(先生)と一緒にやりたい！」と、昼休みの遊びの選択肢の一つになりました。
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み当初の目的・申請理由である「低学年のうちから鉄棒に取り組むことで、跳び上がりにおける体の負担や恐怖心が減少し、学習への意欲が高まることを期待」については達成している。 ・今後も休み時間の遊具の一つとしても活用することで、年間を通して日常的・継続的に使用していきたい。
その他 希望や所感など	今後も大切にに使わせていただきます。御支援ありがとうございました。

2. 活用の様子

鉄棒の高さは80cm・80cm・90cmで、小学部2年生の児童でも安心して自分から取り組みます。



跳び上がりの動きだけでなく、ぶら下がり（『豚の丸焼き』の技）の際に補助の教師の姿勢が安定するため、児童が安心して取り組むことができます。

